

(避難訓練 してみた!!)

今回は、地震発生から15分以内の津波到来を仮定し、実際に避難訓練をしました。「守るべきものは命だけ」を意識!!

ダイジェスト
動画もチェック



条件

時間帯:平日の勤務中
天気:雨
服装:かりゆし/スカート/パンプス
運動:運動の習慣はない
早歩きで避難

大津波警報発表!

スタート



赤崎第二公園出発
(海拔 2 M)

約4分



石川赤崎サンエー
(海拔 6 M)

約8分



つくしこども園
付近到達
(海拔 29 M)

ゴール!



(うるま市防災ハザードマップ抜粋)

<心得>

とにかく身一つで高台へ避難する。過去の災害から倣うように津波警報・大津波警報時は大渋滞が予想され、避難行動要支援者を除けば**原則徒歩避難**です。日頃からハザードマップなどを確認し、高台へのルートを確認しておくことが大切です。

訓練に参加した事業者を紹介

津波防災の日にあたる11月5日に地震・津波避難訓練を行いました。
訓練に参加した事業者から話を聞きました。

訓練が園児の命を救う

石川三育保育園
くによし なおと
国吉 直人 園長

普段の防災訓練の取組みが、警報発表時でも活きました。防災ずきん・くつを教室の分かりやすい場所においてるので、慌てず避難することができました。



連絡網・情報共有を徹底しておく

社会福祉法人与勝福祉会 特別養護老人ホーム
やましろう あかし
与勝の里 山城 証 施設長

組織規模が大きいからこそ、いざという時に慌てないよう予め指揮系統を明確に定めています。災害時には日頃使い慣れたLINEのグループ機能を連絡手段として使っています。



【災害は起こってからでは遅い!】

これまでの災害では多くの尊い命が地震・津波によって失われました。私たちがその命を無駄にしないためには“いつ起こるか分からない”災害に備えることです。避難場所の確認や家族との決め事、地域の避難訓練の参加などにより被害を最小限に抑えることができます。災害はいつも突然です。発災時に慌てないためにも、今できることから始めてみませんか?